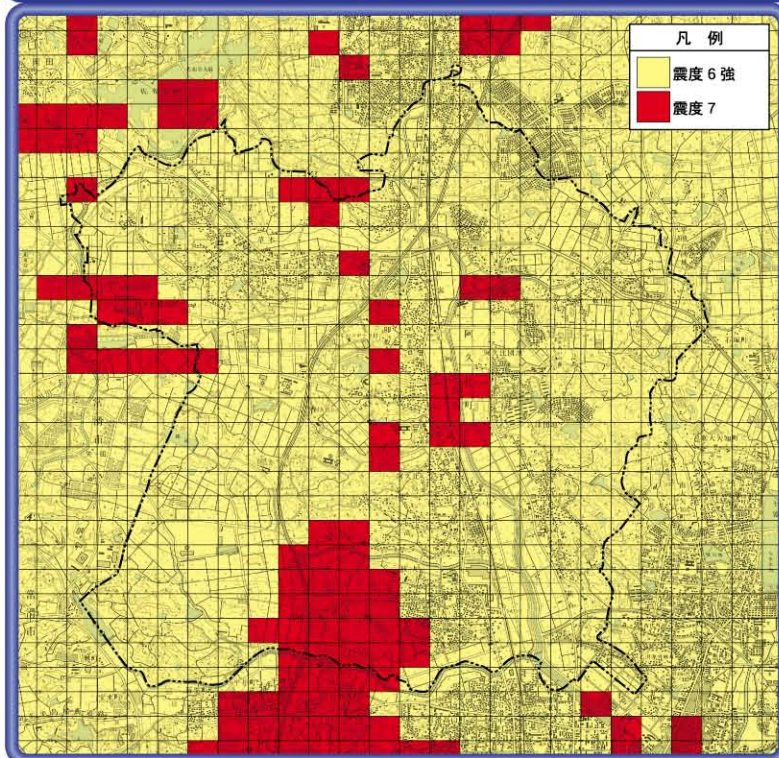
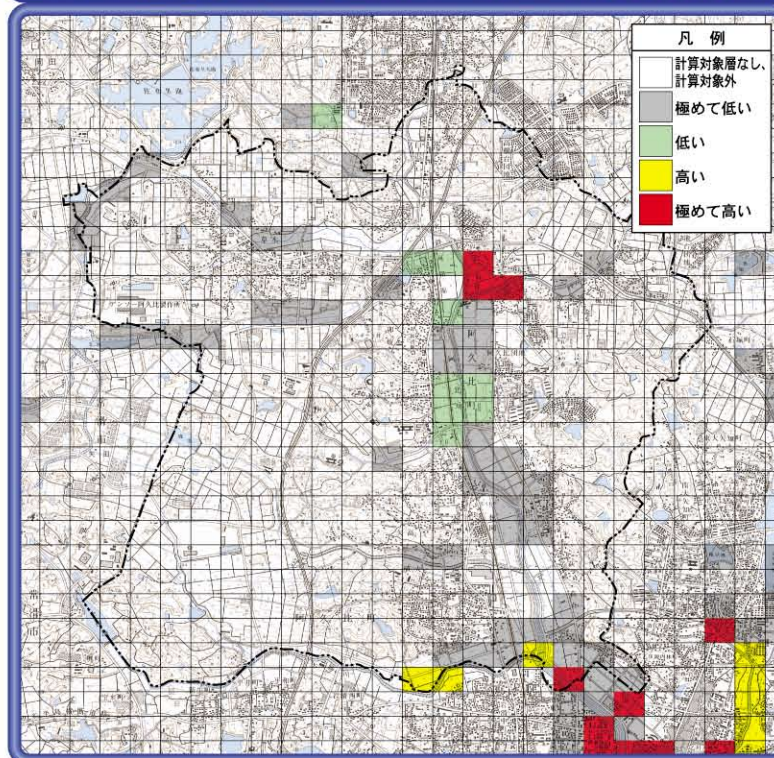


# 南海トラフの巨大地震被害予測データ (平成26年5月愛知県発表)

理論上最大想定モデル (陸側ケース) による震度分布



理論上最大想定モデル (陸側ケース) による液状化危険度



最大震度 ●過去地震最大モデルの場合：震度6強 ●理論上最大想定モデル (陸側ケース) の場合：震度7

## 人的被害 (死者)

想定地震 (冬深夜5時発災、風速5m/s、早期避難率が低い場合)	過去地震 最大モデル	理論上最大想定モデル (陸側ケース、津波ケース①)
建物倒壊等による死者数 (うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)	約10人 (被害わずか)	約100人 (約10人)
浸水・津波による死者数 (うち自力脱出困難) (うち逃げ遅れ)	被害わずか (被害わずか) (被害わずか)	被害わずか (被害わずか) (被害わずか)
急傾斜地崩壊等による死者数	被害わずか	被害わずか
火災による死者数	被害わずか	約20人
死者数 合計	約10人	約200人

表中の数字は右の①～③にしたがって端数処理を行ったため、合計が各項目の和に一致しない場合がある。①5未満→「被害わずか」、②5以上100未満→「一の位を四捨五入」、③100以上1万未満→「十の位を四捨五入」

## 建物被害 (全壊、焼失)

想定地震 (冬夕方18時発災、風速5m/sの場合)	過去地震 最大モデル	理論上最大想定モデル (陸側ケース、津波ケース②)
揺れによる全壊数	約300棟	約2,600棟
液状化による全壊数	被害わずか	被害わずか
浸水・津波による全壊数	被害わずか	被害わずか
急傾斜地崩壊等による全壊数	約10棟	約10棟
火災による焼失数	約80棟	約600棟
全壊・焼失棟数 合計	約300棟	約3,100棟

## 阿久比町の地震の揺れ

南海トラフ巨大地震が発生した場合に阿久比町では最大で震度7が予想されています。

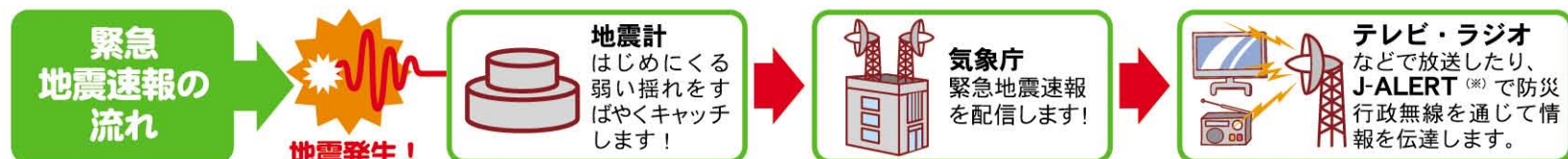
### 緊急地震速報 (警報)

震度	震度	震度	震度	震度
5弱	5強	6弱	6強	7
<ul style="list-style-type: none"> <li>大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。</li> <li>棚にある食器類や本が落ちることがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物につかまらないうと歩くことが難しい。</li> <li>固定していない家具が倒れることがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>立っていることが困難になる。</li> <li>壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>はわないと動くことができない。飛ばされることもある。</li> <li>大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。</li> <li>耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多い。</li> </ul>

※特別警報と通常の警報をごく短時間に区別して伝えることが難しいため、特別警報を通常の警報と区別せず緊急地震速報 (警報) として発表します。

## 緊急地震速報とは

地震による強い揺れを事前にお知らせするための地震動の予報・警報です。



※J-ALERT (全国瞬時警報システム) とは…緊急地震速報等の時間的余裕のない事態が発生した場合に、人工衛星を用いて情報を送信し、町の防災無線を自動起動することにより、瞬時に情報を伝達するシステムです。

## サイレン・警鐘 (防災信号)

### 地震防災信号

(東海地震予知情報赤レベル)

備考) 1. 警鐘又はサイレンは適宜時間継続する。  
2. 必要があれば警鐘及びサイレンを併用する。

#### サイレン

(約45秒吹鳴) (15秒空白) (約45秒吹鳴)

#### 警鐘

(5点灯)

### 事前避難

火災以外の災害発生のおそれがある場合

#### サイレン

(約1分吹鳴) (約5秒空白) (約1分吹鳴)

### 緊急避難・近火信号

災害発生および火災発生を知らせる場合

#### サイレン 43秒

吹鳴  
(3秒) (3秒) (3秒) (3秒) (3秒) (3秒) (3秒) (3秒)  
空白  
(2秒) (2秒) (2秒) (2秒) (2秒) (2秒) (2秒) (2秒)

### その他

武力攻撃・ゲリラ・弾道ミサイル

#### サイレン 47秒

ブー ブー ブー  
ウー ウー

## 地震が発生したら

地震による死傷例の大半は家屋の倒壊や、ガラスの破片や落下物が原因です。安全な場所へ避難しようと長距離を移動することによりケガする例がもっとも多く、避難の際の移動距離を最小限に留めることがとても重要です。

- 室内にいる時：その場で安全確保行動「1-2-3「まず低く、頭を守り、動かない」を実践しましょう。
- 外出中の時：まず、ビル、木、電柱や電線から離れた場所を探し、そこで安全確保行動「1-2-3「まず低く、頭を守り、動かない」を実践しましょう。



- 運転中の時：周りに何も無い場所に停車し、シートベルトを締めて地震が終わるまでそこで停止しましょう。
- 揺れがおさまり、今いる場所が倒壊の恐れがある場合は余震に注意し安全な広場へ移動しましょう。
- 移動する場合は危険な場所は避ける。(ブロック塀、自動販売機、工事現場等)



## 地震発生後の行動の目安

### 地震発生から0~2分

#### 自分の身を守る

転倒の恐れのある家具等から離れ、机等の下に身を隠しましょう。あわてて外に飛びださないようにしましょう。

### 地震発生直後

#### 出火防止・脱出口確保

ガスの元栓を閉め、コンセントを抜きましょう。火が出たら落ち着いて初期消火しましょう。ドア・窓を開けて脱出口を確保しましょう。

### 地震発生から3日目まで

#### 家族の安全確認、余震に注意

倒壊しかけた家屋に近寄らないようにしましょう。隣近所に声をかけ、状況により、徒歩で避難しましょう。

#### 隣近所で消火・救出・救護

隣近所で協力し、消火、ケガ人の救出・救護にあたりましょう。

### 地震発生から4日目以降

#### 生活の維持と回復

4日目以降も災害 (余震) に注意し、生活情報の収集にあたりましょう。復旧に向け努力しましょう。

